

令和7年

夏の交通安全市民運動 実施要綱

令和7年7月11日(金)～7月20日(日)

夏本番を迎え、行楽などで自動車を運転する機会が増えるとともに、暑さやレジャーにより疲れが蓄積しやすくなるほか、新生活も3か月が経過し、通学・通勤への慣れから気の緩みや油断が生じやすくなり、歩行者、運転者ともに注意力が散漫になりがちです。また、交通量が多い夕方に、屋外で遊ぶ子どもたちや夕涼みなどで外出する高齢者が増えるため、交通事故の発生が心配されます。

さらに、夏特有の解放感から飲酒の機会も増え、飲酒運転による交通事故の発生も懸念されます。

そこで、夏の交通安全市民運動を下記の運動重点により展開し、交通事故の防止を図ります。

《 運動重点 》

- 歩行者の交通事故防止と交通ルールの遵守
- 運転者の安全運転意識の向上及び飲酒運転等の根絶
- 自転車・特定小型原動機付自転車利用時の交通ルールの遵守とヘルメット着用の徹底

**歩行者優先は
車を守るべき 責任です！**

運転者には横断歩道手前での
減速義務や停止義務があります。



主唱 安城市交通安全推進協議会

～ 期間中の主なキャンペーン ～

◆ 7月14日（月）午後4時から

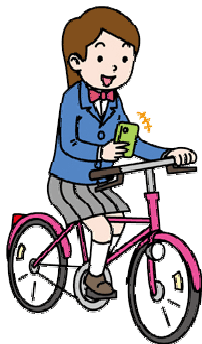
交通事故なく素^{そうめん}麺キャンペーン（桜町交差点にて）

安城特産品のそうめんを配布しながら、交通安全を呼びかけます。

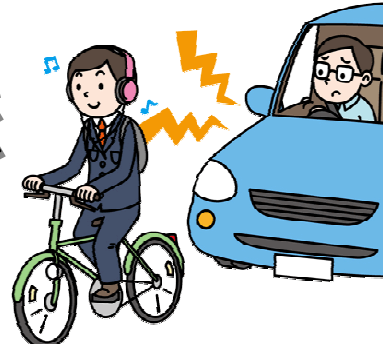
ハンドアップ運動



- 歩行者は、左右の安全確認をし、手を挙げるなどドライバーに横断する意思を明確に伝えてから横断する。特に子どもは、横断中でもドライバーから目立つよう手を挙げて横断する。
- 歩行者は、車が止まっても左右の安全確認をしてから渡り、横断途中も他の車が来ていないか注意する。
- 歩行者は、停止したドライバーに会釈するなど感謝を伝える。



危険です
ながらスマホで
踏むペダル



実践しよう 交通安全スリーS運動

- Stop（ストップ）
 - ・赤信号は確実にストップ、一時停止場所では自転車もストップ
 - ・横断歩道や交差点では歩行者優先
 - ・飲酒運転の根絶
- Slow（スロー）
 - ・子どもや高齢者を見かけたらスローな運転
 - ・見通しが悪い交差点では徐行
- Smart（スマート）
 - ・全ての人に対して思いやりをもった運転と、運転中はスマートフォン等を絶対使用しないスマートな運転
 - ・シートベルトの全席着用の徹底
 - ・急発進や急制動をしない、落ち着いたアクセルの踏み込みなど環境に配慮したスマートな運転